令和5年度講師連絡会議（沖縄本島地区）を開催

沖縄県労働基準協会の事業部は、去る3月22日パシフィックホテル沖縄（那覇市西）において、令和5年度講師連絡会議（沖縄本島地区）を開催しました。

島袋会長の挨拶で開会し、本年度新たに講師委嘱された講師の紹介が行われました。

会議では、玉城事業課長より令和5年度講習実施状況報告と令和6年度の講習実施計画について説明を行いました。令和５年度の講習においては、高校生対象の溶接講習の他、特に要望の多かった酸欠、特定化学物質、石綿技能講習等年間計画以外に合計13回の臨時講習が行われ、回数で188回、受講者数は7,520人で、累計の受講者数は残念ながら前年比63名減ではあったが、過去５年間で２番目に多かった旨の報告が行われた。

令和6年度の講習計画においては、「テールゲートリフター操作業務特別教育」と「化学物質管理者（取扱い事業場向け）」を新規に計画したこと。「金属アーク溶接等作業主任者限定技能講習」について、沖縄労働局に新規登録申請を行って開催することと等の説明を行いました。また、中城モール4階に学科講習を行う専有の会場「中城講習会場」を設けたことを報告し、臨時講習の開催が容易となることから、講師の皆様にもご協力をお願いしました。

佐和田専務からは、沖縄労働局の資料をもとに県内の災害発生状況、第14次労働災害防止計画、金属アーク溶接等作業主任者限定技能講習、トラックでの荷役作業時における安全対策が強化されたこと、新たな化学物質規制等についての説明を行い、県内の労働災害は増加傾向であること、フォークリフト及び墜落による死亡災害が発生していることは関連する講習会においては、説明、注意喚起をしていただきたい旨話がありました。また、下地業務管理部長からは、講師謝金に係るインボイスについての対応と説明を行いました。

意見交換においては、テキスト改訂時の図表集の速やかな配布や、DVD等の教育教材の充実等の要望等、受講生が更によい環境で学習出来るよう前向きな意見交換が行われました。

那覇支部通信

株式会社大生通信「無災害記録証『金賞』」受賞！
～無災害記録9,450日を達成～

株式会社大生通信（代表取締役社長　與那國 隆）においては、平成8年2月23日から令和5年10月27日までの9,450日間、約26年間にわたり無災害記録を達成したとして、中央労働災害防止協会（会長　十倉　雅和）から令和6年3月1日付けで無災害記録証「第五種無災害記録『金賞』」が贈られ、去る3月27日当協会において佐和田専務理事から伝達授与されました。

與那國代表取締役社長からは、社内での労災を経験したことをきっかけに無災害運動に取り組むことを決意し、会社を挙げて無災害記録を目標に、まず毎月第一土曜日を報連相会議として安全の取り組みを習慣化する等の安全活動を積極的にすすめた結果、今回の受賞となった。また、『一生無事故』がモットーであり、次は無災害1万日を目標にさらに安全に取り組む旨の受賞挨拶がありました。